

# 岡田病院

## 医療機関2025プラン

平成30年10月策定 令和2年12月改定

### 【基本情報】

医療機関名	医療法人社団成蹊会 岡田病院		
開設主体	医療法人社団成蹊会		
所在地	山口県長門市東深川 888 番地		
許可病床数	121 床		
(病床の種別)	一般病床：83 床、療養病床：38 床		
(病床機能別)	急性期：83 床、慢性期：38 床		
稼働病床数	121 床		
(病床の種別)	一般病床：83 床、療養病床：38 床		
(病床機能別)	急性期：83 床、慢性期：38 床		
診療科目	内科、整形外科、循環器科、外科、消化器科、肛門科、 リハビリテーション科、脳神経外科、神経内科、放射線科、麻酔科 泌尿器科、リウマチ科、皮膚科		
職員数	194 名		
・ 医師	5 名		
・ 看護職員	101 名		
・ 専門職	56 名		
・ 事務職員	32 名		

作成 担当者	(所属) 事務部	連絡先	(電 話) 0837-23-0033
	(氏名) 福田 泰明		(メール) seikeikai@iris.ocn.ne.jp

## 【1. 現状と課題】

### ① 自施設の現状

届出入院基本料 一般病棟15対1入院基本料、地域一般入院基本料3、療養病棟入院基本料1  
平均在院日数；23.2日、病床稼働率：74.8%

### ② 自施設の課題

地域の人口減少が見込まれること、職員の確保が難しいことから、現状の体制を維持することが困難と判断する。

## 【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

### ① 地域において今後担うべき役割

- ・二次救急医療機関としての役割を果たすとともに、高齢者の慢性期医療の需要にも対応していく。
- ・新型コロナウイルス感染症に対応すべく発熱者対応を市・県の指導を仰ぎながら行う。

### ② 今後持つべき病床機能

- ・現在の急性期病棟は一定程度維持する必要があるが、規模を縮小する。
- ・慢性期病床においても、その需要は必要であるが、これも規模を縮小する。
- ・一般病床の看護基準の類上げ（15対1⇒13対1）を実現し、回復期病床（地域包括ケア病床等）への一部病床の移行。

### ③ その他見直すべき点

- ・医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、今後の医療需要の推移を加味して、最適な病床へ移行する。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (令和2年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	0	→	0
急性期	100		83
回復期	0		0
慢性期	48		38
休棟等			
(合計)	148		121
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

特になし
------

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

一般病床の看護基準を現在の15対1から13対1に類上げし、回復期病床への一部移行も視野に入れる。
--

【4. その他】(自由記載)

--